

## 桜島南岳爆発

2012年7月24日の19時15分に桜島の南岳が爆発し、桜島島内および鹿児島市で多量の降灰がありました。桜島火山観測所での降灰量は11kg/m<sup>2</sup>で、井口正人教授によると、32年間の勤務生活の中では最大のものということです。この降灰により、JRは運転中止、国道224号線は通行規制されました。

桜島では昭和火口において爆発が繰り返され、今年の爆発回数は600回を超えています。南岳の爆発は昨年の2月以来ですが、昭和火口の爆発よりも規模が大きいため、多量の火山灰の放出を伴います。7月23日の21時頃から南岳山頂方向の隆起を示す傾斜変化と山体の膨張ひずみが観測され始め、22時間後に南岳で爆発が発生しました。

その後も、昭和火口において小規模爆発が繰り返されています。

(写真、記事提供：井口正人教授：火山活動研究センター)



桜島火山観測所屋外の様子

